



Sun StorEdge™ Network 2 Gb McDATA Sphereon 4500 Switch ご使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054 U.S.A.
650-960-1300

Part No. 817-4000-10
2003 年 6 月, Revision A

コメントの送付: <http://www.sun.com/hwdocs/feedback>

Copyright 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

米国 Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします)は、本書に記述されている製品に採用されている技術に関する知的所有権を有しています。これら知的所有権には、<http://www.sun.com/patents>に掲載されているひとつまたは複数の米国特許、および米国ならびにその他の国におけるひとつまたは複数の特許または出願中の特許が含まれています。

本書およびそれに付随する製品は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社の書面による事前の許可なく、本製品および本書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。

本製品のフォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権法により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

本製品は、株式会社モリサワからライセンス供与されたリュウミン L-KL (Ryumin-Light) および中ゴシック BBB (GothicBBB-Medium) のフォント・データを含んでいます。

本製品に含まれる HG 明朝 L と HG ゴシック B は、株式会社リコーがリョービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。平成明朝体 W3 は、株式会社リコーが財団法人 日本規格協会 文字フォント開発・普及センターからライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。また、HG 明朝 L と HG ゴシック B の補助漢字部分は、平成明朝体 W3 の補助漢字を使用しています。なお、フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun, Sun Microsystems, AnswerBook2, docs.sun.com, および Sun StorEdge は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標もしくは登録商標です。サン・ロゴマークおよび Solaris は、米国 Sun Microsystems 社の登録商標です。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャーに基づくものです。Netscape Navigator™ および Netscape Communicator™ は、米国およびその他の国における Netscape Communications Corporation の商標または登録商標です。

OPENLOOK, OpenBoot, JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

ATOK は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。ATOK8 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK8 にかかる著作権その他の権利は、すべて株式会社ジャストシステムに帰属します。ATOK Server/ATOK12 は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、ATOK Server/ATOK12 にかかる著作権その他の権利は、株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPENLOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザーおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

Use, duplication, or disclosure by the U.S. Government is subject to restrictions set forth in the Sun Microsystems, Inc. license agreements and as provided in DFARS 227.7202-1(a) and 227.7202-3(a) (1995), DFARS 252.227-7013(c)(1)(ii) (Oct. 1998), FAR 12.212(a) (1995), FAR 52.227-19, or FAR 52.227-14 (ALT III), as applicable.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本書には、技術的な誤りまたは誤植のある可能性があります。また、本書に記載された情報には、定期的に変更が行われ、かかる変更は本書の最新版に反映されます。さらに、米国サンまたは日本サンは、本書に記載された製品またはプログラムを、予告なく改良または変更することがあります。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法 (外為法) に定められる戦略物資等 (貨物または役務) に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

原典:	Sun StorEdge Network 2 Gb McDATA Sphereon 4500 Switch Release Notes Part No: 817-2258-10 Revision A
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------



目次

このリリースの新機能	1
ファームウェア	1
フレックスポート	1
システム要件	2
必要なパッケージとパッチ	2
Switch Management のオプション	2
バグ	3
サービス問い合わせ先情報	5

Sun StorEdge Network 2 Gb McDATA Sphereon 4500 Switch ご使用にあたって

このマニュアルには、Sun StorEdge Network 2 Gb McDATA Sphereon 4500 Switch (以降「4500 Switch」と呼ぶ) に関して、製品マニュアル発行時点では提供されなかった重要な情報が含まれています。このマニュアルを読んで、4500 Switch のインストールと操作に影響を与える問題または要件を確認してください。

- 1 ページの「このリリースの新機能」
- 2 ページの「システム要件」
- 3 ページの「バグ」
- 5 ページの「サービス問い合わせ先情報」

このリリースの新機能

ファームウェア

4500 Switch に付属するファームウェアのバージョンは E/OS 4.01.00 です。

フレックスポート

4500 Switch のデフォルト設定では、8 つのファイバチャネルポートが有効です。オプションの Flexport 機能には、スイッチ容量を 8 ポート単位で増加できるソフトウェアライセンスがあります。

追加したポート容量を Product Manager アプリケーションを使用して有効にするには、「Configure Feature Key」ダイアログボックスで機能キーの購入とインストールを行います。その他の設定オプションは、この機能用の Product Manager または Enterprise Fabric Connectivity (EFC) Manager では使用できません。

システム要件

この節では、ネットワーク環境で 4500 Switch を使用する場合に、Solaris オペレーティングシステム (OS) 用の Sun StorEdge SAN Foundation ソフトウェアおよび Sun StorEdge Traffic Manager ソフトウェアと一緒に使用する必要があるパッケージとパッチについて説明します。

必要なパッケージとパッチ

Solaris OS 用の Sun StorEdge SAN Foundation ソフトウェアおよび Sun StorEdge Traffic Manager for Solaris を SAN でサポートするためには、いくつかのソフトウェアパッケージとパッチが必要です。これらのパッケージとパッチの見つけ方、ダウンロード、インストールについては、『Sun StorEdge SAN Foundation Software 4.2 Installation Guide』(Part No. : 817-1244) を参照してください。

Switch Management のオプション

次の 4 つのオプションのいずれかを使用し、4500 Switch を管理および監視できます。

- Sun StorEdge Enterprise Storage Manager。Enterprise Storage Manager (ESM) は、Sun open SAN ソリューションを容易に配備および管理するためのグラフィカルユーザーインターフェースを備えた記憶装置管理アプリケーションです。
- コマンドラインインターフェース (CLI)。CLI と CLI コマンドについては、『McDATA OPENconnectors コマンドラインインターフェースユーザーマニュアル』(Part No. : 620-000134) を参照してください。このマニュアルは、製品に付属の『McDATA Sphereon 4500 Switch CD』にも入っています。また、次の URL から入手できます。

<http://www.mcdata.com/knowcenter/techpubs/index.html>

- **McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management Lite**。Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite には、Enterprise Fabric Connectivity (EFC) Manager、Fabric Manager、Product Manager アプリケーションが含まれています。これは、Solaris オペレーティングシステムを使用するサーバーでのインストールを意図しています。
- **Netscape Navigator/Communicator と McDATA SANpilot**。Netscape Navigator™ または Netscape Communicator™ を使用すると、E/OS 4.01.00 ファームウェアの一部である SANpilot インタフェースを通じて 4500 Switch にアクセスできます。SANpilot インタフェースは、Netscape Navigator 4.6 以降で使用する必要があります。『McDATA Enterprise Fabric Connectivity Manager ユーザーマニュアル』(Part No. : 620-005001) を参照してください。このマニュアルは、製品に付属の『McDATA Sphereon 4500 Switch CD』に入っています。また、次の URL からオンラインで参照できます。

<http://www.mcdata.com/knowcenter/techpubs/index.html>

SANpilot アプリケーションは、McDATA スイッチが 8 つ未満の小さなファブリックを監視および設定するためのものです。SANpilot は、ゾーンングなどの重要な管理機能と、ホットコードローディングやホットコードアクティブ化などの先進機能を提供します。

バグ

バグは、優先順位 (P) と重大度 (S) の状態とともに番号順に示されています。

- **Bug 4762783 (P4/S4)**: 組み込み Web サーバー (EWS) のヘルプメニューには、ファームウェアのアップグレードのために 4500 Switch をオフラインにしなければならないと記載されている。
回避策 : これは誤りです。この指示は無視してください。
- **Bug 4765963 (P5/S4)**: deleteWnnMem コマンドが不適切な応答を返す。

```
# deleteWnnMem
invalid zone name
```

回避策 : ゾーン処理を行うのにコマンドラインインタフェース (CLI) を使用しないでください。McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアを使用します。

- **Bug 4834286 (P4/S4)**: EFCM Lite ソフトウェアを実行するサーバーを置き換えた後に、McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアのゾーン設定と他のゾーン情報が適切に表示されない。

回避策 : EFCM Lite サーバーに関するゾーン情報をインポートまたは復元してください。

- **Bug 4832847 (P4/S4):** Netscape Web ブラウザで E/OS 5.1 ファームウェアをダウンロードする場合、ファームウェアのファイル名のうち選択用に 50 文字しか表示されない。

回避策 : McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアを使用して E/OS をダウンロードしてください。

- **Bug 4841884 (P3/S2):** 診断障害の投入中に 4500 Switch が IP アドレスや Flexport ライセンスなどのカスタム設定を失い、出荷時のデフォルト設定に戻ることがある。

回避策 : スイッチのリセットや電源の再投入を行ってください。その後、IP アドレスを再設定し、Flexport ライセンスを再インストールします。

- **Bug 4846424 (P3/S5):** オプションのライセンスキーのインストール後、CLI コマンドの show features が Flexport 機能 (有効時) の正しい状態を返さない。

回避策 : McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアを使用して Flexport 機能の状態をチェックしてください。

- **Bug 4848574 (P4/S4):** Storage Automated Diagnostic Environment がエラーカウンタを 4500 Switch から取得する場合、ソフトウェアが最初の 5 つのポートだけしか報告しないことがある。

回避策 : McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアを使用してエラー状態をチェックしてください。

- **Bug 4850819 (P3/S4):** CLI と GUI の間で一貫しないポート状態が報告される。

複数のデバイスをポートに接続できる FL ポートの場合、CLI は WWN としてゼロを報告し、GUI はポートごとにすべての接続されている WWN を表示します。

回避策 : McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアだけを使用して 4500 Switch をチェックしてください。

- **Bug 4850918 (P4/S2):** 4500 Switch が McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアからアクセスできなくなる。

McDATA 4500 Switch と 6064 および 6140 ディレクタは、管理のために Network Management Request/Response Unit (NMRU) 接続を使用します。任意の時間に 1 つの NMRU セッションだけが許可されるので、Sun StorEdge Enterprise Storage Manager (ESM) ソフトウェアが NMRU 接続を取得すると、EFCM Lite ソフトウェアは 4500 Switch に接続できません。

回避策 : ファブリックを管理または監視するために ESM ソフトウェアと EFCM Lite ソフトウェアを同時に使用しないでください。

- **Bug 4851117 (P4/S3):** 1G ビットファイバチャネルデバイスに接続すると、Gx_Port 設定の 4500 Switch が FL_Port になる。

回避策 : 個々の FL_Port を確認し、それらを手動で F_Port に設定してください。

- Bug 4854340 (P4/S3): 障害導入時に 4500 Switch が Ethernet 通信を失うことがある。

回避策 : シリアルポートを通じて CLI コマンドでソフトウェアリセットを行うか、4500 スイッチの前面の IML/RESET ボタン (IML は初期マシンの読み込み) で開始される初期プログラムの読み込み (IPL) を行ってください。

注 – 入出力動作はソフトウェアリセットの実行中続きます。

- Bug 4854365 (P3/S3): ポート状態「invalid Attachment」が 4500 Switch で報告される。

回避策 : Sun の認定したホストバスアダプタ (HBA) だけを使用してください。

- Bug 4859897 (P3/S4): McDATA ファブリックをマージする (たとえば McDATA 4500 Switch 付のファブリックを McDATA 6064 Switch ファブリックに追加する場合、両方のスイッチに同じ名前または識別子のゾーンがあると、McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェアがゾーン不一致エラーのある最初のスイッチ間リンク (ISL) セグメントを報告することがある。

McDATA スイッチファブリック内のセグメント内の主体スイッチ間リンク (ISL) が分割される場合、イニシエータがすべてのターゲットデバイスと通信できないことがあります。

回避策 : ファブリックをマージする前にすべてのゾーンの名前が一意になるように、EFCM Lite を使用してファブリック内のゾーンの名前を変更してください。

- Bug 4859908 (P4/S3): 4500 Switch がオフラインの場合、McDATA Enterprise Fabric Connectivity Management (EFCM) Lite ソフトウェア 5.0 はスイッチ間リンク (ISL) を障害として示さない。

回避策 : 今後、提供される予定です。Sun のサービス担当者にお問い合わせください。

サービス問い合わせ先情報

この製品のインストールまたは使用に関してサポートが必要な場合、米国内からは 1-800-USA-4SUN にお電話ください。または、以下の Web サイトをご覧ください。

<http://www.sun.com/service/contacting/index.html>

